

平成28年度 第12回 さいたま輝き

荻野吟子賞募集

あなたの近くの輝く男女と事業所を讃えます



女性と男性が個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野に対等に参画することができる男女共同参画社会の実現が、ますます重要になっています。

日本で最初の公認女性医師となった荻野吟子の不屈の精神を受け継ぎ、先駆的な活動などを行った男女や団体、事業所を表彰します。



埼玉県マスコット
「さいたまっち」

■主催：埼玉県 ■共催：熊谷市
■後援：内閣府男女共同参画局、独立行政法人国立女性教育会館、(一社)埼玉県経営者協会、
NHKさいたま放送局、テレビ玉、埼玉新聞社、NACS、日本女医会埼玉支部



埼玉県マスコット
「コバトン」



さいたま輝き

荻野吟子賞募集要項

対象者 ▶

● さわやかチャレンジ部門（40歳未満の個人）

県内に在住（勤）又は県出身で、各分野にチャレンジし、今後さらなる活躍が期待できる年齢40歳未満（平成29年4月1日現在）の方です。

● いきいき職場部門（事業所）

県内に所在し、女性の能力活用、男女の職域拡大又は仕事と子育て、家庭生活との両立支援など男女が共同して参画することができる職場づくりに積極的に取り組んでいる事業所です。

- ※1 公務の一環として行っている活動は対象となりません。
- ※2 埼玉県男女共同参画推進事業所表彰を受賞した事業所については、受賞後の更なる取組により顕著な成果を挙げている場合、本賞の対象とします。
- ※3 表彰対象とするにふさわしくない行為等があったときは、表彰の対象としないことがあります。

応募方法 ▶

次の者の推薦又は自薦により、別紙様式に必要事項を記入の上、「応募先」まで御応募ください。応募は、郵送、直接持参、ファックス、E-mailによりお願いします。様式は、埼玉県ホームページからダウンロードすることもできます。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0309/danjyo-ginko/oginoginko-shou.html>

- さわやかチャレンジ部門…市町村、団体又は県民による推薦
- いきいき職場部門…市町村、団体、事業所、県民又は地域振興センター所長（事務所長を含む。）による推薦（自薦も可）

応募先 ▶

〒330-9301（所在地記入不要）埼玉県県民生活部 男女共同参画課 荻野吟子賞係

TEL 048-830-2921 FAX 048-830-4755

E-mail a2920-03@pref.saitama.lg.jp

募集期間 ▶ 平成28年 8月1日（月）～平成28年 9月30日（金）（消印有効）

※推薦をしたい方がいるが、推薦書を記載するのが困難な場合などは、8月中に男女共同参画課まで御相談ください。

選考 ▶

さいたま輝き荻野吟子賞選考委員会での選考を経て、知事が決定します。

表彰 ▶

平成29年2月に表彰式を行う予定です。受賞者には、賞状と記念品を贈呈します。

第11回（平成27年度）さいたま輝き荻野吟子賞 受賞者

敬称略 五十音順



きらきら輝き部門

「きらきら輝き部門」は先駆的な取組などにより各分野で特に功績が著しく、今後の活躍が期待できる個人又は団体を表彰するもので、公募しません。

受賞にふさわしい個人又は団体の中から、さいたま輝き荻野吟子賞選考委員会の選考を経て知事が決定し、表彰します。



尾池 富美子

(おいけ ふみこ)

NPO法人メイあさかセンター代表理事。マレーシアと日本の学校教育との連携で小・中学生の絵画による交流を端緒に国際協力、介護体験から、障がい者や高齢者への支援など幅広く活動を行っている。NPO活動の先駆者として他のNPOの指導・育成を行っている。埼玉新聞社埼玉文化賞(社会文化部門)、外務大臣表彰など数々の表彰を受けている。(朝霞市在住)

合同会社ままのえん (さいたま市)



子育て中の女性にも取り組みやすい仕事を当事者目線で細分化し提供している。講座・イベントの開催、一時託児事業や広報PRツール制作などの業務を細分化し、300人以上いる部員(=子育てママ会員)にそれぞれが希望する形での仕事の依頼、業務委託等を行う新たなビジネスモデルを立ち上げた。これにより、子育て中の女性たちがいきいきと働ける場や機会を創出している。



さわやかチャレンジ部門



来栖 智香子

(くるす ちかこ)

後藤足袋有限会社の足袋職人。伝統ある行田足袋のすべての縫製工程の技術を習得し、平成26年度埼玉県伝統工芸士に認定された。生地を斬新にコーディネートし、国内外にアピールできる足袋作りに挑戦している。足袋職人として、また、伝統工芸の継承を担うリーダーとして大いに期待されている。(行田市在住)



鈴木 美緒

(すずき みお)

株式会社^{ぐれいん}grain ^{ぐれいん}grain代表取締役。デイサービス事業と保育園を一体的に施設運営している。介護職員が隣の部屋にある保育園を利用することで、子育てしながら働くことのできる職場環境も実現している。日々の子どもと高齢者との交流が好評で、より良い介護・保育支援に向けて相乗効果をもたらしている。(春日部市在住)



いきいき職場部門

株式会社ピクルス コーポレーション (所沢市)



食品加工業。「野菜の元気をお届けします。」をキーワードに、あさづけ・キムチ・惣菜を提供している。成果が見える化することで、年齢・性別・職種にとらわれず評価をする取組を進めている。この結果、女性が能力を発揮できる職場を実現し、ヒット商品を生み出している。

増木工業株式会社 (新座市)



総合建設業。特殊建築物や戸建住宅の新築工事・改築工事(リフォーム工事)、不動産の売買や賃貸管理を行っている。男性優位の建築業界において、前例にとらわれず、親子出勤制度や女性目線での現場施設等の改善に取り組んでいる。その結果、女性の能力を生かし大きく業績を伸ばしている。

さいたま輝き荻野吟子賞 受賞者一覧

第1回 (平成17年度：個人3件、団体3件、事業所2件)

- 個人** ●天沼 裕子 (指揮者、作曲家) ●高澤 英子 (藍染作家)
●平敷 淳子 (医師)
- 団体** ●SWS ●特定非営利活動法人ふじみの国際交流センター
●有限会社メロード
- 事業所** ●大宮予備校 ●株式会社埼玉りそな銀行

第2回 (平成18年度：個人3件、団体2件、事業所3件)

- 個人** ●宇津木妙子 (スポーツ指導者) ●長島 房江 (人形師)
●矢内理絵子 (女流棋士)
- 団体** ●特定非営利活動法人新座子育てネットワーク
●特定非営利活動法人みんなのまち草の根ネットの会
- 事業所** ●医療法人社団誠弘会 池袋病院 ●日本ピストンリング株式会社
●生活協同組合さいたまコープ リリヴ北本

第3回 (平成19年度：個人4件、団体3件)

- 個人** ●河端 静子 (埼玉県障害者協議会会長) ●塩浦 綾子 (旅客自動車運送業経営)
●中井 広恵 (日本女子プロ将棋協会代表理事)
●樋口 久子 (日本女子プロゴルフ協会会長)
- 団体** ●上里町女性会議 ●鶴ヶ島市ひまわり会
●特定非営利活動法人わこう子育てネットワーク

第4回 (平成20年度：個人3件、団体2件、事業所3件)

- 個人** ●青野 輝子 (元タクシー運転手) ●木村 弘子 (技術士)
●山田 香織 (盆栽家)
- 団体** ●埼玉中小企業家同友会 女性経営者クラブ・ファミ ●結木の会 (林家)
- 事業所** ●石坂産業株式会社
●医療法人慈正会 丸山記念総合病院 ●医療法人 土屋小児病院

第5回 (平成21年度：個人4件、団体2件、事業所2件)

- 個人** ●相原香保留 (少年警察ボランティア) ●島田由美子 (NPO法人理事長)
●白石 光江 (養豚経営者) ●堀内 壽子 (警察犬訓練士)
- 団体** ●社団法人 日本助産師会埼玉県支部熊谷地区
●特定非営利活動法人 ミランクラブジャパン
- 事業所** ●医療法人顕正会 蓮田病院 ●津田工業株式会社 (製造業(塗装))

第6回 (平成22年度：個人2件、団体1件、事業所2件)

- 個人** ●高崎 絹子 (大学教授)
●野村 路子 (作家)
- 団体** ●女性問題学習グループなの花会
- 事業所** ●株式会社ヤオコー
●株式会社リケン 熊谷事業所

第7回 (平成23年度：個人2件、事業所1件)

- きらきら輝き部門** ●大谷 貴子 (元全国骨髓バンク推進連絡協議会会長)
- さわやかチャレンジ部門** ●長谷川有貴 (大学教員(助教・博士(工学)))
- いきいき職場部門** ●埼玉縣信用金庫

第8回 (平成24年度：個人3件、事業所2件)

- きらきら輝き部門** ●田部井淳子 (登山家)
- さわやかチャレンジ部門** ●碓井美由紀 (エンジニア)
●金子 友紀 (人形師)
- いきいき職場部門** ●社会福祉法人杏樹会
●株式会社武蔵野銀行

第9回 (平成25年度：個人2件、事業所2件)

- きらきら輝き部門** ●平間 保枝 (社会起業家)
- さわやかチャレンジ部門** ●SHIORI(しおり)(フードコーディネーター)
- いきいき職場部門** ●社会法人熊谷福祉会
●株式会社コマム

第10回 (平成26年度：個人3件、事業所2件)

- きらきら輝き部門** ●栗原 慶子 (林業家)
- さわやかチャレンジ部門** ●貫井 香織 (農業者)
●村上 暁子 (酒職人)
- いきいき職場部門** ●株式会社クリタエイムデリカ
●松坂屋建材株式会社

※各部五十音順 敬称略 データは原則として応募時



おぎのぎんこ 荻野 吟子 プロフィール

江戸時代末期の嘉永4年(1851年)、現熊谷市俵瀬に生まれました。
18歳で結婚しましたが、不慮の病に侵され2年後に離婚しました。
この時、婦人科の治療を受けたことから、女性医師の必要性を痛感し、医師となることを決意しました。
しかし、当時、医師開業試験は女性には認められていませんでした。
そのため、制度改正に奔走するなど様々な困難を克服し、明治18年(1885年)、
医術開業試験に合格、日本で最初の公認女性医師となりました。
開業後は、医療・女性解放運動等に活躍し、女性の地位向上や衛生知識の普及にも大きく貢献しました。
大正2年(1913年)、62歳で永眠し、栄光と波乱に満ちた生涯を閉じました。



東京女子師範学校(現お茶の水女子大学)
卒業時の荻野吟子(後列左から一番目)

※熊谷市立荻野吟子記念館では、荻野吟子に関する資料を展示しています。
(所在地：熊谷市俵瀬581番地1)



音声コード(SPコード)

活字文書読み上げ装置で、
情報を音声で聞くことができます。

